資料1

令和6年度及び令和7年度の主な取組について

① 健康増進事業について

1 KAGA健食健歩プロジェクト

（１）食と運動の推進

① ウォーキングの推進　：ノルディックウォーク会の開催　8回 209人 （R7.1月末）

② ラジオ体操の推進　：ラジオ体操運動教室　10回 370人（R7.1月末）

ラジオ体操ステーション　24箇所

③ ＫＡＧＡ健康フェスタ　：令和6年10月26日(土)開催　約500人

・KAGA健幸ポイントカード表彰

・生活習慣病予防（飲酒）ポスターコンクール表彰

※健康づくり推進協議会、食生活改善推進協議会と共催

KAGA健幸ポイントカード表彰式

生活習慣病予防(飲酒)ポスターコンクール表彰式

健康づくり７つのスローガン 飲酒編

1 KAGA健食健歩プロジェクト

（１）食と運動の推進

④ 各地区での食生活改善推進員と健康づくり推進員との共同活動

・河南地区　健康講座(運動・野菜等の啓発)　27人
・加陽保育園合同訪問(エプロンシアター、遊ぶ心で体操)　7人 、幼児16人
・山代地区　チャレンジ料理教室(地域伝承料理教室)　10人
・勅使地区　防災食作り実演（お湯ポチャ蒸しパン）　100人
・作見地区　健康講座(医療センター岡本医師による糖尿病講座)　50人
・山代地区　男の料理教室　20人

6/29　河南地区　健康講座

7/24　加陽保育園　合同訪問

9/21　山代地区　チャレンジ料理教室

11/3　勅使地区　防災食作り実演

11/17　作見地区　健康講座

11/23　山代地区　男の料理教室

令和7年度の取組

全体活動、地区の活動において、食と運動の共同活動を進めていく。

1 KAGA健食健歩プロジェクト

（2）KAGA健幸ポイントヘルスケアアプリ

取　組	概　要	R6.12月末現在	R6年度目標
KAGA健幸ポイントヘルスケアアプリ（R4.7～開始）	歩数、体重記録などの健康づくりにポイントを付与し、毎月1,000ポイント以上獲得した方に抽選でAmazonギフト券等を進呈。生活習慣改善やメタボ予防・改善などの健康管理を推進。	登録者数 2,677人	登録者数 3,000人

アプリ起動率（令和6年4月～12月）
平均**68.7%**（他市平均50%）

1,000ポイント達成率（令和6年4月～12月）
平均**72.9%**

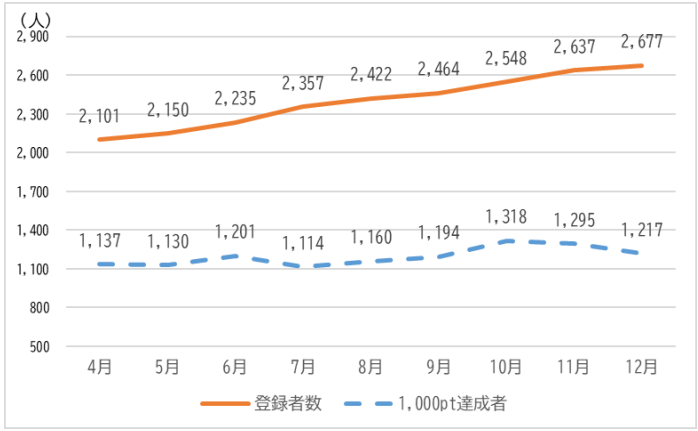
加賀市専用画面

アプリトップ画面

シンプルな操作性と豊富なコンテンツ

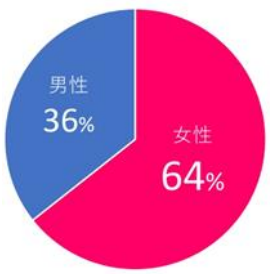
年齢・性別を問わず気軽に使えるアプリ

登録者数と1,000pt達成者の推移（令和6年4月～令和6年12月）



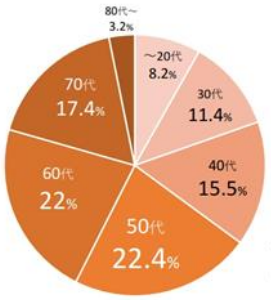
アプリ参加者内訳（令和6年4月1日～令和6年12月31日）

性別



男性 954人　女性 1,723人

年代別



～20代	219人
30代	306人
40代	414人
50代	599人
60代	588人
70代	466人
80代～	85人
合計	2,677人

1　KAGA健食健歩プロジェクト

（2）KAGA健幸ポイントヘルスケアアプリ

取　組	概　　要
拡 地域協力店の景品	令和6年6月～ 　デジタルギフトカードの追加（PayPay、クオカードペイ） 令和6年12月～ 　地域の商店加盟店商品券の追加 　山中温泉商店協同組合共通商品券（山中温泉） 　ゆーでるかーど加盟店会商品券（片山津） 　ダイヤスタンプ会加盟店商品券（大聖寺） 　山代温泉商店連盟加盟店共通商品券（山代温泉） 山中温泉商店協同組合共通商品券　ゆーでるかーど加盟店会商品券（片山津） ダイヤスタンプ会加盟店商品券（大聖寺）　山代温泉商店連盟加盟店共通商品券
拡 イベントコード	令和5年6月～ 　特定健診受診者、健康応援セミナー参加者に対し、ポイント付与。 令和6年6月～ 　定例ノルディックウォーク、ラジオ体操教室、かもまる講座、健康づくり推進員地区活動のイベント参加者に対し、ポイント付与。

令和7年度の取組

　KAGA健幸ポイントヘルスケアアプリを通じて、健康への意識付け、生活習慣改善に向けての魅力ある情報や商品等を提供し、市民の健康管理を推進。

2 特定健診受診状況

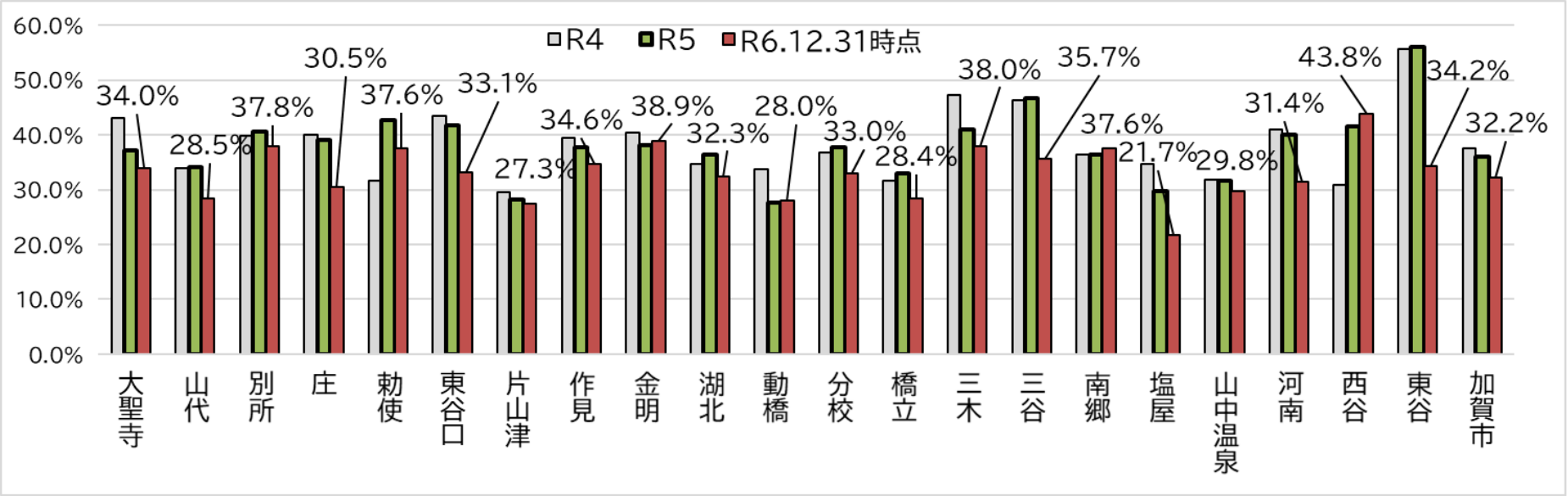
（１）加賀市国保特定健診受診率（Ｒ５法定）

① 対象者数　　8,578人

② 受診者数　　3,239人

③ 令和５年度受診率　37.8%（県内18位）　R4から△0.1%

（２）加賀市国保特定健診の地区別受診状況



市国保特定健診より

令和7年度の取組

健康づくり推進員による特定健診未受診への勧奨、特定健診受診者に対しての健幸ポイント付与等、市民の健康への意識付け、生活習慣改善に向けての情報を発信していく。

3 こころの健康づくり

【概要】自殺対策基本法や自殺対策要綱に基づき「誰も自殺に追い込まれることのない社会」実現を目指す

（1）対面相談事業

市民からのこころの健康づくりに関する相談対応：約300件/年

（2）人材育成事業

相談者支援勉強会や従事者向けゲートキーパー講座の開催

・ゲートキーパー人材育成講座：４回 75人参加

（3）普及啓発事業

こころの健康づくりや自殺予防に関する講演会や相談窓口

・カードによる普及啓発　　相談窓口に配付（約10,600枚）

・こころ健康づくり講演会

「眠活のススメ～快眠のコツと習慣～」（R7.3/23予定）

（4）若年層へのこころの健康づくりの普及：小・中学生を対象とした普及啓発

・SOSの出し方に関する教育　小中学校12校で実施

3 こころの健康づくり

（５）第２期 加賀市自殺対策基本計画（R7.4改定予定） 第４回健康福祉審議会(R7.3)で審議

① 計画の概要

令和4年10月の国の自殺総合対策大綱の趣旨を踏まえ、加賀市自殺対策基本計画を地域福祉計画と一体的に策定

・計画の位置付け：自殺対策基本法第13条第2項に基づく市町村自殺対策計画

・計画期間　　：令和7年度～令和11年度までの5年間

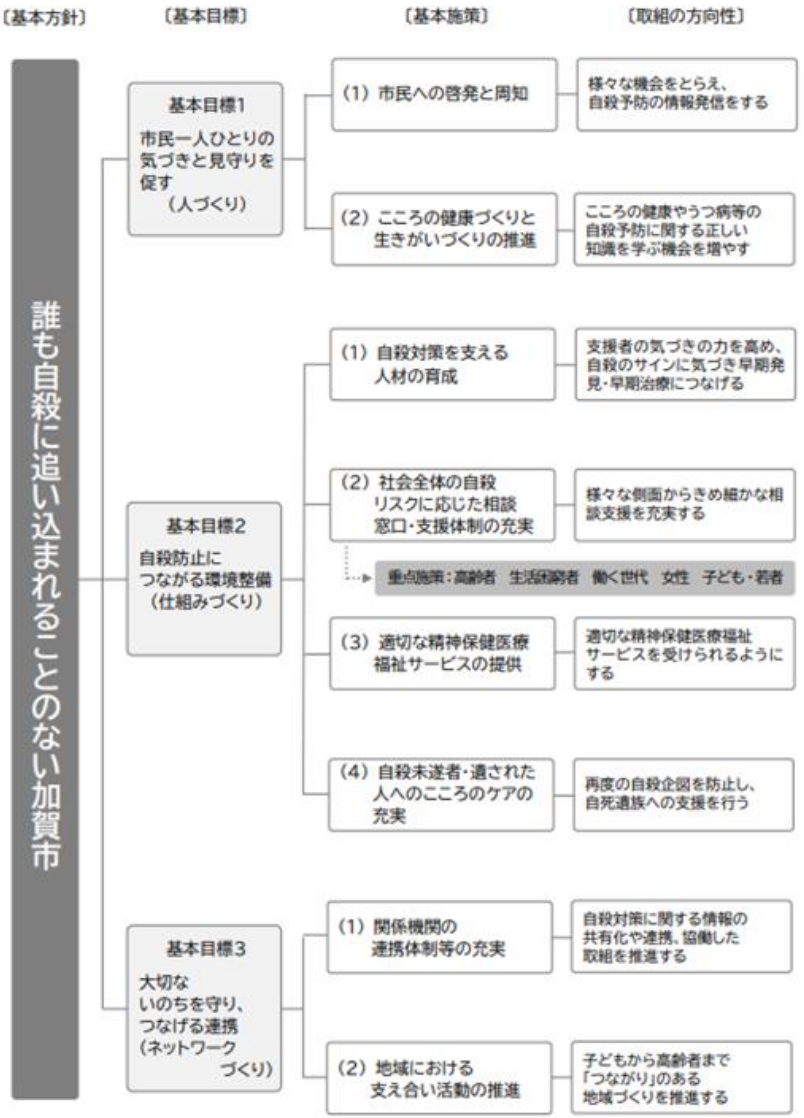
② 数値目標

・令和 8年度までに10万人当たりの自殺死亡者数を平成27年（平成23年～27年の5年平均値）と比べて30%以上減少した17.6以下とする。

③ 自殺対策の取組

・成果指標 ： 基本目標、重点施策について、目標を設定、計画の進捗状況や効果を確認しながら取組を進める。

・重点施策 ： 加賀市の現状を踏まえ、高齢者、生活困窮者、働く世代、女性、子ども・若者の５つの区分の特性に応じて施策を強化



令和7年度の取組

第2期 加賀市自殺対策基本計画に基づき、「誰も自殺に追い込まれる ことのない加賀市」を目指す。

4　歯科口腔保健対策

（1）歯周病検診事業

	対象者	受診場所	受診人数	受診率
個別検診	30歳以上	市内歯科医療機関(6/1～12/28)	1,116	2.6%
集団検診	19歳以上	6月2日(日)、11月10日(日)	140	2.3%

※ 19歳～29歳までは集団検診のみ受診可。30歳以上は集団・個別検診のどちらかを選択受診可

（2）乳幼児のむし歯予防教室

むし歯予防対策として、保育園等、市内子育て支援センター、親子つどいの広場等に
歯科衛生士が出向き、乳幼児のむし歯予防のための教室を実施。

４か所 保護者参加６１名

【感想】 ・仕上げ磨きをしっかりしようと思いました。
・むし歯は生活習慣病にも影響してくるから気を
つけたいし、むし歯にならないようにしたい。など

（3）フッ化物洗口について　～ 子どものむし歯予防対策～

むし歯予防対策として、健康格差の縮小を目指し、
こどものむし歯予防に効果のあるフッ化物洗口を実施。

	実施箇所	対象	開始時期
保育施設	19園実施／全26園	4･5歳児クラス	8月下旬
小学校	17校実施／全17校	全学年	9月

新

【感想】
保護者：自分のこどもの時にあったらよかった、むし歯予防の大事さがわかった。
職　員：思ったよりスムーズにできた。

令和7年度の取組

引き続き歯周病対策やむし歯予防を推進し、歯･口腔の健康への意識付けを高めていきます。